

ライオンズクラブ国際協会333-C地区ニュース2号 2005年12月10日発行

みんなが和

2005.12.10

No.2



第44回 東洋・東南アジア・フォーラム詳報！

日本では7年ぶり。杜の都・仙台に1万人が集う

The Lions' Hymn

ライオンズ・ヒム

Words by Joseph M. Tewinkel
訳詩・葛野作太郎

Music by Francis H. Baxter



Sing li - ons, raise a song At the shrine of lib - er - ty. ———
う た え ラ イオンズ自由のうたを——



Sprung from the no - ble heart - beat of de - moc - ra - cy, ———
むねにもゆる火デモクラシ——



E - ter - nal vig - i - lance will keep a - live the flame. ———
とわにけさじとまもるなれ——



Lib - er - ty, In - tell - i - gence, Our Na - tion's Safe - ty. ———
リバティ インテリジェンス アワネーションズ セイフティ——

ライオンズ ヒム

一、歌えライオンズ 自由の歌を

胸に燃ゆる火 デモクラシー

永久に 消さじと 守るなれ

リバティ インテリジェンス

アワ ネーションズ セイフティ

二、知性に生きる ライオンズ

社会奉仕と 友愛に

手をさしのべよ 常に強く

リバティ インテリジェンス

アワ ネーションズ セイフティ

三、戦の魔手より 国を守る

強き同志の 城築け

命と名誉と 富かけて

リバティ インテリジェンス

アワ ネーションズ セイフティ



CONTENTS

4 第44回 東洋・東南アジア・フォーラム詳報！

日本では7年ぶり。杜の都・仙台に1万人が集う



9 特別企画 [元地区ガバナー・リレー放談] ②

L 杉浦 明「村上国際会長就任宣誓式に同席の感激」

10 発展への情熱を掲げ「プラス1」研修会を開く

11 一挙掲載／意欲新たに結成記念事業・式典

12 **ACTIVITY・NEWS・FLASH**

28 連載② 会員研修講座「奉仕への出発」

30 続・迫る大地震／首都圏の経済的損失は112兆円

31 みながわ俳壇



表紙画／L青木 孝（松戸東LC）

県の最北端である利根川と江戸川の分流点にある県立関宿城博物館。
天守閣は江戸城の富士見櫓を模したもの。1995年11月に開館。



特集／第四十四回 東洋・東南アジア・フォーラム詳報！ 日本では七年ぶりの開催。杜の都・仙台に1万人が集う

四十四回を数える東洋東南アジアライオンズフォーラムが、十月七日から十日まで杜の都・仙台で二万人余が参加して開催された。

通常OSEAL (Orient and Southeast Asia Lions) と呼ばれるこのフォーラムは、十七の国および地理的領域の友好・親善とライオンズの高揚発展を図るもので、日本での開催は七年ぶり。

国際協会は世界のライオンズクラブを七つの領域（アメリカ及びその周辺、カナダ、メキシコ、中南米、カリブ海諸島、ヨーロッパ、南アジア・インド・アフリカ・中東、東洋東南アジア、大洋州及びその周辺）に分けているが、この領域ごとに毎年、フォーラムが開催されている。このフォーラムでは次の五つの目的を掲げている。

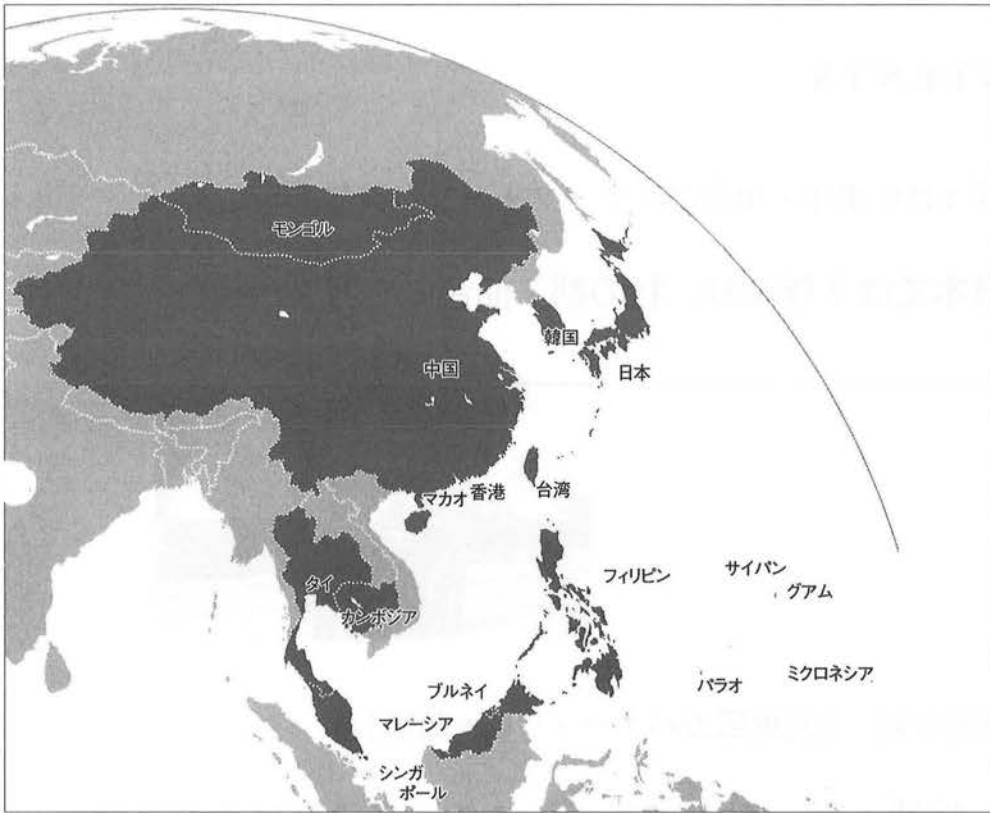
- 1 ライオンズクラブ国際協会の目的と方針を促進する。
- 2 地区およびクラブ役員を指導教育する。

3 合同事業の可能性を含む奉仕事業一般について意見や情報交換する。

4 L C I F に対する理解と認識の向上を図る。

5 当該年度の国際会長の方針推進。

OSEALの領域に属するのは上図の通りグアム、ミクロネシア、サイパン、パラオ、台湾、マカオ、マレーシア、シンガポール、タイ、ブルネイ、日本、韓国、中国、モンゴ



The 44th OSEAL Forum in Japan



今回の仙台フォーラムにはC地区から皆川春安ガバナールを始めとして岡野正義、木下務、内田千尋の元地

C地区役員活躍 存在感を示す

ル、カンボジア、フィリピンで、クラブ総数は七千四百クラブ。会員数は二十六万三千四百五十を超える。フォーラムの開催国はローテーションが組まれているが、来年はマレーシアのペナン、再来年は韓国の大邱(テグ)で、その次はタイのバンコクであるが、2008年の国際大会開催国であるため、香港と入れ替わる。



区(ナ)を含めて百余名が参加した。

後藤隆一ミッション30国際リーダーシップ研究会の講師として

また林護CSFIIセクターコーディネーターは、MERLセミナーの講師として、それぞれ五日間に亘り大任を果たした。

平行して開催されたライオン誌日本語版委員会主催のミニ・フォーラムで「ITを通してライオンズクラブの活性化を」と題したITパワーアップ・フォーラム実行委員会にC地区のIT委員が多くの名を連ねた。

実行副委員長に杉江民生(浦安中)

委員に倉永富男(市原)、高橋昌男(松戸ユーカー)、福澤良夫(松戸ユーカー)、長谷川健登(野田)、吉田稔隆(野田)の各氏。



また別のミニ・フォーラムに後藤隆一元地区ガバナールは、パネル・ディスカッションにパネリストとして参加。他の二人のパネリストと共に五人の提言を受けて幅広い見識から熱い議論を展開した。

このフォーラムの意義についてC地区全体としては意義が十分に浸透しているとは言えず、更なる認識が求められる。

なおフォーラムにおいてA・メー



タ国際会長より、後藤隆一元地区ガバナールの顕著な功績に対し国際会長賞が授与されている。

東洋東南アジアライオンズ・フォーラム「ガバナー日記」

水と緑の都・仙台で開かれた東洋東南アジアライオンズ・フォーラムに参加された同志の皆様、お疲れ様でした。

開会式は小雨降るグランディ21で行われたが、昨年のマニラの時と同じようにアシヨック・メータ国際会長の挨拶が始まるころは、すでに一時間以上の遅れ。

せっかく訪れた各国のメンバーも混雑を見越して席を立つ人が数多く見られた。さすがに会場の上段に陣取った日本のメンバーは動かさなかつ



た。私は壇上の椅子に座って一瞬のライトを浴びたが、良い思いでになった。

その日の夕刻、ジャパンレセプションに出席したが、国際理事候補のL鳴本聡和の顔も見えていた。

地区の夕食会はエクセル東急仙台で六十名を数えるメンバーが出席して楽しい一時を過ごしたが、友輝君への募金も忘れなかつた。

翌日はフォーラムの花盛りで、国際会長提案のミッシヨン30やCS FIIの会場は熱心な聴取者で満員の



盛況であった。

国際会長主催の晩餐会ではインド地方の地震災害に対する救援金が集まり、アシヨック・メータ会長夫妻は感激に胸を震わせていた。また、高齢のメンバーには自ら頭を下げて礼を尽くす国際会長の姿は印象的であった。

三日間、毎日「議長と地区ガバナーの懇談会」が開かれたが、どちらかと言えば国際理事が主役という感じで、ガバナーとしては勉強するたれに通つたと言えるだろう。



閉会式は文字通り、民族のるつばように人が出てきて、会場内に入れない状況。近くで雰囲気味わっているだけの人が大勢いた。

今回の仙台フォーラムには、A・メータ国際会長をはじめ、国際協会的首脳陣が、ほとんど出席したという。重要視されたフォーラムであったようである。

時間の遅れと大混雑の仙台フォーラムの三日間、私は大変に疲れましたが、参加された皆様も同じでございますでした。



The 44th OSEAL Forum in Japan

「清風は明月を払う」リーダーシップ研究会に学ぶ



L 小西 宗仁

あの美しい真如の月も暗雲がか、れば、眩しいばかりの輝きを失う。

ここ数年、ライオンズの活動の実相は、会員の急激な高齢化と予測をはるかに超えた景況の低迷で、今や風がピタリと止まった状況下と実感しているのは、私一人ではなからう。

順風の中で展開された豪華な奉仕活動や、逆風の中で敢然と立ち向かって衆智を集め、創意と工夫でウィザーブに汗した時のメンバーの顔には精気が漲っていた。

昨今のライオンズの実態は風が止まった中にあるように思えてならない。メンバーの間に将来のライオンズを危惧する声が充満している。

折も折、地区の勧めで仙台で開催

*

されたリーダーシップ研究会に参加した。韓国、台湾、フィリピン、タイ、シンガポール、マレーシア、香港、マカオ、日本のライオンが相集い、開会式で始まったプログラムは延べ五日間。

わが地区内で屈指の国際通、L後藤隆一の流暢な英語による司会で幕を明けた研究会は、

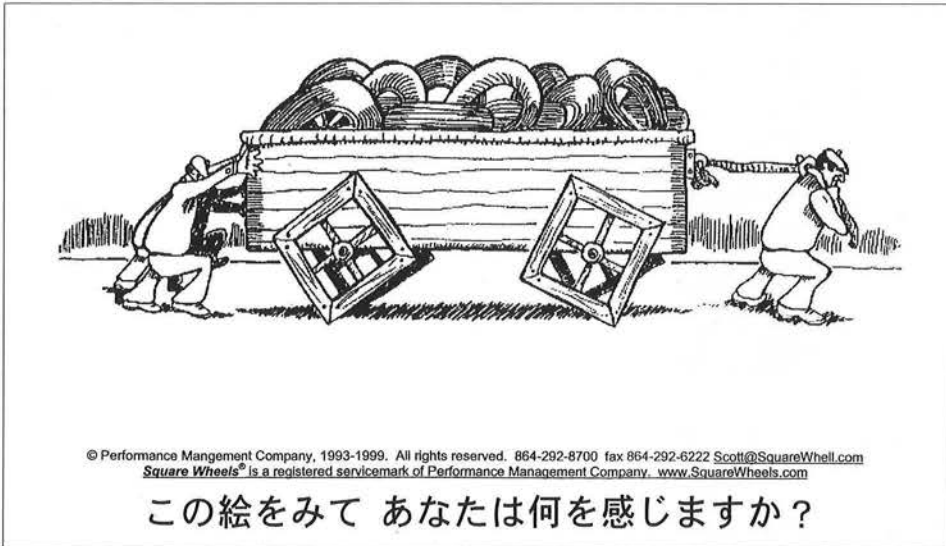
- ① プレゼンテーションの技能
- ② ライオンズの基本
- ③ 枠にとられない発想
- ④ 紛争の解決
- ⑤ コミュニケーション
- ⑥ 我々は奉仕する
- ⑦ 国際財団
- ⑧ チームと支援
- ⑨ 事業管理
- ⑩ メンタリング

等のテーマを、三人の講師のリードで各チームに分かれフレイン・トーミング（自由奔放な小グループの意見交換）を毎日、実践した。

この中で旧態依然の体質で満足している声は稀で、大半の参加者の声は新しい視点に立って運営費の見直

しや事業のあり方に集中した。地区運営の簡素化が声高に論じられた。私が痛感したのは、本を忘れずの

精神の再蘇生こそ肝要。人間や、もすれば美しい花に心を奪われ、松の常緑の味わいある美しさを忘れていくことだ。



© Performance Management Company, 1993-1999. All rights reserved. 864-292-8700 fax 864-292-6222 Scott@SquareWheel.com
Square Wheels® is a registered servicemark of Performance Management Company. www.SquareWheels.com

この絵をみて あなたは何を感じますか？

厳しい社会の実相の中で、ライオンズ本来の目的である友情、親善、相互理解を第一義として心のゆとりの構造こそ奉仕の出発点と学んだ。

風が止まろうと柔軟な発想と勇氣ある実践が不可欠と認容した。人間の最も高尚な生き方とは簡潔な生活の中で、奉仕を社会的使命と自若し、命を輝かせて対峙する勇氣を研究会で得た。

「命令者でなくチームのコーチ役に徹せよ」という助言は、リーダーに求められる最低の要件と認真したことに感恩する。(小西宗仁)

地区内十五カ所を駆け巡った公式訪問 「ガバナー旅行記」 風光明媚にして人情に厚い千葉賢人の心に触れて感激!



皆川 地区ガバナー

夏の八月二十日、2リジョンから始まった公式訪問は、紅葉の十月二十九日の8リジョンをもって終了しました。



クラブ三役との懇談会はどこでも熱心で、会員増強とエクステンションに積極的に取り組んでいました。つまりはアシヨック・メータ国際会長のミッシヨン30の「プラス1」を良く理解している証拠だと感じました。

また、視力ファースト・キャンペーンIIについても、かなり質問がありました。これも関心事のひとつになっており、大変に喜ばしいこと



であります。

全部で十五カ所お伺い致しましたが、和気藹々の道中記を綴るとい

が、胸に掲げたし字の誇りは、仲間が増エル。せつかく増えた仲間を減らさないよう支エル。そうすればみんなが信じあエル。エルを大切に。

○10リジョンでは心臓を痛めた友輝を助けようとみんなが丸となって募金をしておりました。ご協力に感謝致します。



○退会防止にはライオン帽を被り「ボウシ」を忘れないでと訴えてきました。

○A・メータ会長の提唱する「プラスワン」をウルトラマン流に腕でプラスを作って示しました。

○ライオンズローアでは最後に腕で輪を描き、会場は「みんなが和」となる一瞬がありました。

リジュン役員の方々をはじめメンバー各位に御礼を申し上げます。



元 地区ガバナー リレー放談

杉浦 明

(1979～1980年 在職)



村上国際会長宣誓式に同席の感激

私が地区ガバナーに就任したのは二十六年前の一九七九年、モンリオールの国際大会でありました。思えば四半世紀も昔の事です。

当事、五十五歳。日本の同期ガバナー二十九名中、最も年少でありました。丁度、し村上薫が国際第三副会長に当選された年でした。

その翌年、シカゴの国際大会で私は333複合地区のガバナー協議会議長に就任いたしました。

し村上薫はフェニックスの国際大会で日本から初の国際会長に選出されたが、その国際大会壇上で行われた村上国際会長の就任宣誓式に、日本における現職の複合地区ガバナー協議会議長として同席させていただきました。光栄に浴したのであります。この感激は私のライオン歴の中においては勿論、全生涯を通じて忘れることが出来ない思い出であります。

私の地区ガバナーと複合地区協議

会議長の二年間の大きな出来事といましては、地区分割とC地区の単県独立が確定をいたしましたということとであります。

地区分割については、数年前からの懸案でありましたが、私の前任地区ガバナーである手塚信栄ガバナーからの申し送り事項となっておりました。

私は就任と同時に「地区分割検討委員会」を立ち上げ、一年間みっちり検討をしていただき、その年度の年次大会においてB地区からC地区（千葉県）の独立が決定されたのであります。

一九八〇～八一年度の複合地区ガバナー協議会議長である私の名をもつて国際協会に申請し、正式に許可を得ることが出来たのであります。

C地区が正式に発足したのは一九八一～八二年度からでありました。

C地区初代の地区ガバナーには市川のし式場倭文夫に、ご無理をお願いしてお引き受け

いただくことが出来たのでしたが、ご就任直後にご病気でお亡くなりになりましたことは、返す返すも残念なことでありました。

また新地区発足に備えまして当時の先輩ライオンの英知を結集して地区運営の基盤を強固なものとされたことも特筆されて良いことのように思います。

ことに「地区ライオンズ憲章」の制定は画期的なことでありました。その原案を起草させていただきましたことは、私のライオン冥利に尽きるものでございました。

本年、齢八十一歳、気力体力ともに衰え、無念の毎日を過ごしております。そんな明け暮れに、思い出は走馬灯の様にめぐります。



モンリオールで村上国際第三副会長と。

発展への情熱を掲げ「プラス1」の意識を高める

今期はA・メータ国際会長の掲げる会員増強、新クラブ結成をひとつ達成する、いわゆる「プラス1」が地区に課せられた大きな使命のひとつ。

C地区では、大橋誠一ミッション30地区コーディネーターを指揮官として作戦を展開中だが、十一月十二日に、より一層の意識を高めるため、千葉市民会館で研修会を開催した。

この研修会には原則として各クラブの会長、第一副会長に出席を要請したが、当日は百五十名近くが会場を埋める盛況。

研修会は午後一時半から開会し、皆川ガバナーの挨拶のあと大橋地区コーディネーターが「プラス1」と研修会の趣旨説明をし、次いで後藤隆一ミッション30国際コーディネー

ーターが基調講演を行った。

講演は「プラス1チャレンジで会員増強の達成を！」と題し、要旨、次ぎのような幅広い見識から多岐にわたって講演が行われた。

まず、ここ数年のMERL活動については有効に機能している地区が増加し、インパクトは世界的に成功し増加傾向にあり、特に韓国と台湾の成績が顕著であること。

一クラブ当たりの平均会員数は韓国が四十二人、台湾は三十五人、日本は三十六人。因みに世界平均は二十九人でC地区は二十八人であること。

また女性会員の増強では日本が世界から立ち後れているという。先の東洋東南アジアフォーラムの上位ライオンズ・リーダーシップ研究会でも台湾や韓国などでは女性メンバーや若手が数多く参加し、東洋東南アジア地域に限っても、日本の後進性を指摘した。

講演の後、出席者が幾つかに分かれてのグループ・ディスカッションは、熱い盛り上がりを見せた。



基調講演を務めた
後藤元地区ガバナー

プラス1研修会

ライオンズクラブ国際協会333-C地区
「プラス1」研修会

特集 / 一挙掲載！ 意欲を新たに 結成記念事業

九月九日、地区内百二十八番目のクラブとしてチャーターナイト記念式典を挙行了した「松戸みどりLC」を始めとして、今年も多くのクラブが結成記念の周年事業と式典の予定を組まれている。

上総一宮LCでは記念講演にプロ野球の元ロケットオリオンズの村田兆治氏を招いたが、会場は野球少年を含めて超満員の盛況であった。

松戸ユーカーLCは記念式典にマレーシアの308B2地区ガバナーを招き青少年活業基金を贈呈した。

柏中央LCは記念事業としてカン

ボに小学校を建立し寄贈した。二十五周年にも同国に同様の事業を行なっており二回目となる。

場所は首都ポノンペン北東のコンポチャム州のスラバン村で、十一月に政府要人も出席し開校式が挙行された。

記念式典は二、三月に集中しているがトリを務めるのは柏沼南LC。



認証状伝達式を挙行了した「松戸みどりLC」



房総の名門クラブ「上総一宮LC」は40周年



カンボジアに小学校を寄贈した「柏中央LC」

年	月	日	曜日	クラブ名	事業名
5	9	4	日	銚子	例会千回
5	10	16	日	上総一宮	40周年
5	10	22	土	成田	40周年
5	10	23	日	神崎	35周年
5	10	23	日	松戸ユーカー	20周年
5	11	5	土	松戸グリーン	10周年
5	11	6	日	船橋東	35周年
5	11	20	日	鴨川	40周年
6	1	29	日	栗源	20周年
6	2	19	日	柏中央	30周年
6	2	19	日	八日市場	40周年
6	2	25	土	千葉若潮	30周年
6	2	26	日	佐倉中央	10周年
6	3	11	土	市原東	10周年
6	3	12	日	旭	40周年
6	3	19	日	成田エアポート	10周年
6	3	19	日	富津	40周年
6	4	30	日	千葉エコー	40周年
6	5	10	水	柏みどり	5周年
6	5	27	土	市原南	40周年
6	5	28	日	柏沼南	30周年

※11月3日現在/キャビネット事務局届け分

ビオトープは自然と共生する優しい街づくりの礎

自然は地球固有の財産であり、市民が地域への愛着を育み、子供達の心や体の健全な成長には欠かすことが出来ない。

経済的利益を追い求め、農地は減り続け、車中心の街となって、街は個性を失いつつある。モノは豊かになったが、日本の将来に不安を感じる人は少なくない。

環境省は第三次環境基本計画策定の作業を進めている。これは自然と共生する社会の実現を目指したものだ。欧米諸国に比べその取り組みは二、三十年の遅れをとっていると言っている。

広大な国土を有するアメリカでさえ一九八〇年代に都市の無秩序な拡大を抑制するスマート・グロス法が施行されている。

またヨーロッパ諸国では「持続可能な開発」が街づくりの基本テーマとなっている。これはコンパクトシ

ティと呼ばれ、明確な都市理念のもとに開発をコントロールしているものだ。

ビオトープに取り組む千葉ＬＣ

ビオトープは、野生の生き物が自然に集まってくる場所を意味し、かつて、どこにでも存在した池や沼を再現したスペースのことを指す。

千葉ＬＣでは数年前からこのビオトープ造りを事業の大きな柱のひとつとして取り組んでいる。四年前、市内の公園に「トンボの花鳥池」を造成し、トンボの王様オニヤンマが産卵し、飛翔する雄姿を見せてくれた。このことに力を得て、一昨年、

四十周年記念事業の一環として千葉高のプール跡地に約百坪の池を造成した。

昨年は、この池に憧れのギンヤンマや絶滅危惧種のデンジソウ、そしてカエルやメダカも姿を見せ、関係者感激させた。

千葉ＬＣでは、このビオトープの先駆者といっても良い椎名益男・環

境保全委員長を中心にしたこの二つの池の保全に継続事業として力を注いでいる。

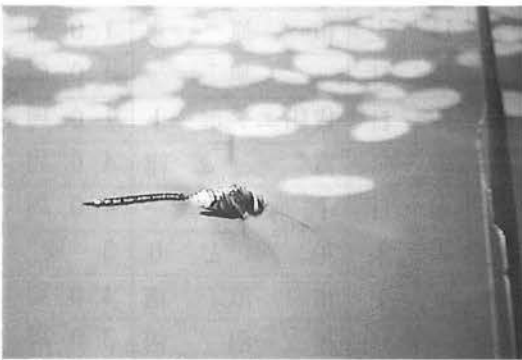
千葉県内で自然のトンボの宝庫として知られているのは、匝瑳郡光町の三十二種類のトンボが群れる「乾草沼」や、オニヤンマが飛び交う千葉市土気町の「昭和の森」の湿性植物園である。



ビオトープに情熱を注ぐ椎名益男委員長



千葉高内にビオトープ池の造成に取り組んだ。



完成した池に憧れのギンヤンマが帰って来た。



ニューヨーク・メーター国際会長がMD330、333を公式訪問

「飛躍への情熱」を掲げて国際会長に就任したアシヨック・メーターは、日本公式訪問のため九月二十九日夕方、成田空港に到着。直ちに横浜のホテルに入った。

九月三十日のMD330、333の横浜市を皮切りに、長崎市、名古屋市、小樽市の四カ所を夫人同伴で公式訪問された。その後、仙台で開催された東洋東南アジア・フォーラム

日本では台風と呼ばれているが、史上最大の超大型ハリケーン「カトリナ」が米国南部を襲ったのは八月下旬。

アラバマ州、ミシシッピ州、ルイジアナ州の被害総額は250億ドルを超え、完全復興には数年かかると言われている。

来年の第八十九回国際大会開催地であったニューヨークは、元来、ミシシッピ川と湖に囲まれた海抜下であつたため、ほぼ全市が水没してしまつた。

国際協会では急遽、開催地を東北部にマサチューセッツ州のボストンに変更した。

アシヨック・メーター国際会長がMD330、333を公式訪問

「飛躍への情熱」を掲げて国際会長に就任したアシヨック・メーターは、日本公式訪問のため九月二十九日夕方、成田空港に到着。直ちに横浜のホテルに入った。

九月三十日のMD330、333の横浜市を皮切りに、長崎市、名古屋市、小樽市の四カ所を夫人同伴で公式訪問された。その後、仙台で開催された東洋東南アジア・フォーラム

C地区は皆川春安ガバナークラスをはじめ、後藤隆一ミッシェン30国際チームリーダー、林護CSFIIセクターコーディネーター、霜礼次郎

ムに出席されたのは周知の通りで、長期間の日本滞在となつた。

その横浜市での公式訪問と歓迎晩餐会は横浜ロワイヤルパークホテルで開催され、四百三十名近くが出席した。

副地区ガバナークラス、内田千尋地区名誉顧問ら七十八名が出席した。

A・メーター国際会長は公式訪問の講演で、奉仕・発展・指導・推進・実践の五つの分野における「飛躍への情熱」を、まさに情熱を傾けて説いた。

開催地の松沢成文・神奈川県知事と中田宏・横浜市長も、国際会長のこの訪問にメッセージを寄せた。





「可愛い子には旅をさせよ」 Y E夏季派遣生が貴重な体験報告

青少年国際交流はライオンズの事業の大きな柱のひとつ。Y E委員会は春・夏・秋の交換事業の取り組みに、年間を通して東奔西走する「多忙で花形の委員会」である。

この夏の派遣生は十四名。女子十名はアメリカ、カナダ、オセニア、そしてヨーロッパへ。男子四名はマレーシア、フィンランドへと元気に飛び立った。

九月に派遣生と受入家庭の報告会があったが、帰国報告の体験談で共通しているのは「貴重な体験で見聞を広めることができた。英会話を再学習してまた行きたい」というものだった。

一カ月前、一様に不安に満ちた言動は微塵もなく、自信と意欲が溢れている。関係者の苦勞が報われる時である。

一方、受入家庭の報告は、蒸し暑い日本で如何に心地よく滞在し、過ごしてもらったか苦労した家庭が多いようであった。しかし、家族が一人増えたようで、家族のコミュニケーションが良好になったという報告が圧倒的であった。

十一月には冬季派遣生の壮行会が行われ、ニュージーランド、オーストラリア、マレーシアに派遣される。

恒例の「ふるさと親子祭り」に八千代L Cが協賛。演奏会に花火

八千代市、八千代商工会議所主催の「八千代ふるさと親子祭り」は夏の恒例行事で、今年は八月二十日の日曜日に新川河川敷の花火を主行事として開催された。

午前には満員の八千代市民会館で自衛隊音楽隊による演奏会が開かれたが、八千代L Cでは毎年、この演奏会に金銭アクティビティを、そして翌日の花火大会跡の河川敷清掃は

労力アクティビティとして、ふるさと親子祭りに協賛している。

花火大会には主催者発表で十八万人の人数があり、真夏の夜空に次々と打ち上げられる大輪の花火に歓声をあげた。

翌朝の河川敷清掃には市役所関係者、八千代L Cを始め数団体のボランティアが五時半に集合し、広範囲に散乱しているゴミの収集作業に入

った。

十八万人もの花火見物人のゴミはそれこそゴミの山、山。先が見えてきた頃は昼近くで、十四名の特別清掃員のメンバーもグッタリ。

汗をぬぐい一服した後、近くのファミリールストランで、昼食を兼ねた「朝食」を摂った。奉仕作業の後には、いつも清々しい気分を満たされる。



茂原中央ＬＣが七夕祭りで事業資金獲得に「うちわ大作戦」実施

茂原市と茂原商工会議所等が毎年開催している「茂原七夕祭り」は、七月二十二日～二十四日まで三日間にわたり茂原市中心街を飾った。

仙台市や平塚市の七夕祭りは有名だが、茂原市の七夕祭りもそれなりに地域のメインイベントとして市民の関心は高く、楽しみにしている行事。

茂原中央ＬＣは、この七夕祭りを

最大の事業資金獲得のチャンスとして「うちわ大作戦」を行っている。

これは平塚湘南ＬＣの「七夕まつりボランティアうちわ」にヒントを得たもので、当初は平塚まで出向き、ノウハウを伝授してきたもの。

要するに協賛企業により製作された社名入りうちわを、街頭募金活動のさいに配布するアクティビティ。募金と配布はポイイスカウト、ガー

ルスカウト、心身障害児親の会の三団体に協力を仰いだ。

獲得した資金は、募金とうちわの配布に協力をいただいた三団体と日本盲導犬協会に総額三十一万二千元余を支援金として贈呈した。

近年の経済低迷の情勢により、七夕祭り自体が縮小傾向にあり、また協賛企業も同様で、現状を維持していくことが難しい時期に来ている。

千葉県聴覚障害者連盟と連携し手話講演会を開催した佐原ＬＣ

千葉県には三十万人を超える聴覚障害者がいるが、聴覚障害は外見では気づかれ難く、コミュニケーションに大変ご苦労されている。

国や自治体の聴覚障害者に対する制度や法整備の取り組みが、視覚障害者のそれに比べて遅れているのは否めない。

Ｃ地区では聴覚障害者支援を事業の柱としているクラブは少ないが、

佐原ＬＣでは今年も去る七月十四日に手話講演会を実施した。

「聴覚障害について理解を深め共に生きる態度を養う」ことを目的に、佐原高を会場として過去、十五年間実施してきたが、昨年から会場を佐原白楊高に移して開催している。

講演会には千葉県聴覚障害者連盟から手話通訳も派遣され、白楊高一年生二百名と教師が受講した。

聴覚障害には、聾唖、中途失聴、高齢難聴、聾重複等があるが、コミュニケーションの手段には、手話、口語、筆談、空書等がある。

聴覚障害者はコミュニケーションの不足からストレスが高まる方が多いと言われる。一般市民は無論だが小・中・高生を中心とした青少年に対して、聴覚障害についての理解と啓発が求められている。



鎌ヶ谷LCCが夏休みの思い出に千匹のニジマス釣り大会開催

長い夏休み期間を絞った事業が多いが、鎌ヶ谷LCCでは子供たちの夏の思い出にと、八月二十日の早朝に市内の公園の池清掃を兼ねて釣り大会を開催した。

これは六年前、当時の岡野正義ガバナーが提唱した「水辺のクリーン作戦」の主旨に沿って公園の池の清掃を始めたことが契機となったもので、今年で七回目を迎える。

この「水辺のクリーン作戦」は、その後も継続しているクラブが実に多い。冒頭に紹介した千葉LCCのピオトーブ推進や、白子LCCのホテルの育成、手賀沼の汚濁日本一返上への啓発活動を続ける柏市、我孫子市、印西市のクラブは手賀沼エコマラソン大会開催日に共同アクティビティ事業を行なっている。

当日は好天に恵まれ、夏の太陽の

下で朝七時から中学生以下、二百名近くが参加。キレイに清掃された池に千匹のニジマスが放流され、釣り大会が始まった。

十時を過ぎると釣れ具合が悪くなったので、掴み取りに変更。子供たちは歓声をあげて水の中に飛び込んで奮闘した。

この事業には鎌ヶ谷高ボランティアの会の生徒が協力した。



佐倉中央LCCは300坪の畑地に「ヤーコン、アピオス」を栽培

ヤーコン、アピオスとは何か。南米アンデス原産のキク科の植物で、外観はサツマイモやダリアの球根に似て塊根を食用とする。

このヤーコンは作物の中ではズバ抜けて多くのフラクトリゴ糖を含みポリフェノール、植物繊維が実に豊富で抗癌作用があるという。

一方、アピオスはマメ科の植物でインディアンのスタミナ源と言われ

るほど栄養価が高いという。

何やら通販の宣伝文のようになったが、佐倉中央LCCがこの作物を労力アクティビティで財源を確保しようとして、昨年、三百坪の畑地を借り、耕作・植付・収穫・販売までを一手に行っている。

初めは人件費ゼロであるところから利益があると見込んでいたが、市場価格が予想を下回り、利益は計上

できなかつた。

今年は作付け面積を倍にし、インターネットやダイレクト・メール等を活用し、各種のパザール、お祭りへの出張販売など、販売活動を強化したことで利益が確保できる見通し。

この事業のポイントは、福祉資金獲得と合わせメンバーの共同作業がクラブの活性化に繋がっていることにある。





10000回記念例会を迎えて二階建てビルの銚子L.C.会館を取得

一九六四年九月二十七日の認証状
伝達式から五十一年、奉仕の道を着
実に歩んできた銚子L.C.が、八月十
七日に記念すべき10000回例会を
迎えた。

クラブではこれを機に、かねてか
ら話が出ていたビルを取得し、会館
とした。会館は百三十五・六坪の土
地に、鉄筋コンクリート造陸屋根の
二階建。建坪は百十三・三八坪であ

る。

クラブでは九月四日に10000回
記念例会と会館竣工を記念して犬伏
埼京成ホテルで祝賀の式典と宴を催
した。

遠路、台湾から来日した台北市龍
山L.C.鄭俊雄会長をはじめ、スポ
ンサークラブの船橋L.C.、桐生中央L
C.、リジョンチエアパーソン、ゾー
ンチエアパーソンの地区役員ら多士

濟々の来賓を迎えて盛大かつ華やか
に開式した。

この会館の取得は亡くなられたお
二人の会員の芳志を基金とし、クラ
ブが総力をあげて取り組んだもので
10000回記念例会では九十二万三
千円の驚異のドネーションが報告さ
れた。

単独クラブによる会館の所有は全
国でも極めて珍しいケースだ。

下総L.C.に姉妹都市のニュージーランドからライオネスが来訪

下総町はニュージーランドのフォ
ックス市と姉妹都市交流を結んでい
るが、九月十九日、十五名の中学生
と教師、父兄七名の計二十二名の交
流使節団が町を訪れた。

二年前にもフォックス市長と議長
が訪れたが、お二人ともライオンズ
のメンバーで親しく交流された経緯
があり、今回もライオネスクラブの
メンバー二名が同行してきた。

そのお二人が、九月二十一日の第
306回例会に表敬訪問されたが、
開会直前まで多くのメンバーには知
らされていなかったため、出席した
メンバーは突然の美女訪問にビツク
り。

ジャン・マリー・ヘイズさんが代表
して「シモウサライオンズクラブノ
ミナサン、コンバンワ。ミナサント
オアイデキテ、タイヘンウレシイデ

ス。コンゴモヨロシク。アリガトウ。」
と日本語で挨拶し、大きな拍手を受
けた。

下総L.C.とアワオウライオネスク
ラブのバナーとバッチを交換したが
会場は国際交流の雰囲気で満たされ
た。

相互交流の意義から次回は下総L
C.が訪問する計画も浮上してきそ
うだ。



老人福祉施設・白鷺園を慰問した習志野ＬＣ。星影のワルツ熱唱



十月八日はライオンズ奉仕デーだ

が、習志野ＬＣでは一日早い七日の金曜日に、市内の老人福祉施設「白鷺園」を慰問に訪れた。この福祉施設訪問は、習志野ＬＣのライオンズ奉仕デーの恒例事業として十八年継続されている。

設立三十五年を経過する「白鷺園」には約五十名近いお年寄りが入居しているが、この慰問を非常に楽しみに

している。

それは、この慰問にあたり習志野寿司組合に依頼し、二十人の板さんの特別出張で、寿司の出前サービスを行っているが、施設では保健所の指導で生モノが出ないため、年一回の寿司は何よりのご馳走なのである。

慰問は寿司をつまみながら、お年寄りの話相手をするだけだが、普段、

外部の人との接触の少ないお年寄りには、この話相手も非常に喜ばれている。

今回はウクレレ演奏のボランティア・グループにも協力をいただき、会場は華やかで和やかな雰囲気につつまれた。

最後は二十名の会員とお年寄りがウクレレの伴奏で「星影のワルツ」を合唱した。

木更津金鈴ＬＣが体育の日にＬＣ旗争奪少年サッカー大会開催

第八回を迎えた「木更津金鈴ＬＣ旗争奪少年サッカー大会」が、体育の日の十月十日に木更津桜井運動場で開催された。

「体育の日」は毎年晴れの日が多く減多に雨は降らないが、この日は朝から小雨模様の生憎の天候となった。

この大会は青少年健全育成事業の一環として開催されているものだが

開会式で鳥飼会長が「サッカーを通して健康に育つことを願う」と挨拶し、富所クラブ幹事の始球式で大会の幕が切つて落とされた。

大会は全日本少年サッカー大会規定に則り運営され、十二チームが三チームずつ四ブロックに分かれて予選リーグを戦い、各ブロック一位の四チームが決勝トーナメント方式で覇を競った。

応援の父兄などの大歓声を受けて決勝に進んだのは、高柳ＦＣグリーンとアウルＦＣ。接戦の末、高柳ＦＣが優勝候補のアウルＦＣを破って優勝旗を手にした。

優勝チームには他にトロフィーと賞状。準優勝、三位チームにトロフィーと賞状が贈呈された。また参加の全選手に大会記念メダルが授与された。





来日のYE生二名を招き屋形船で納涼例会を楽しんだ行徳L.C

屋形船は江戸時代の末頃から隅田川の舟遊びから始まったとされる。時代は移っても水の流れや川面を渡る風は変わらず、現代は東京ベイやお台場、東京デイズニールランドの光のページェントを求め、老若男女を問わず人気が高い。

会と、年間を通して活況を呈している。行徳L.Cでは夏の七月二十日に、メンバーが経営する船宿の一隻を貸切り、来日中のYE生を招待しての家族納涼例会を催した。

人を超える参加者から盛んな拍手を浴びた。YE生は刺身に天ぷらと慣れぬ箸を使ってニッポンの定番料理を賞味しつつ異文化の伝統とメンバーとの交流に二時間半を過ごした。

船宿も江戸川、多摩川などの河川や運河、そして東京湾岸に数多く点在し、春は桜、夏は花火、冬は忘年

YE生はインドのアシシシュ・ケラー君とスウェーデンのハンナ・カールソンさんのお二人。プレゼントされた浴衣を着てのスピーチに四十

屋形船は浦安を出て東京デイズニールランド周遊のコースだったが、当日は生憎と風が強く、お目当ての花火が中止となった。

幕張メッセL.Cがロッテ球団の本拠地で少年軟式野球大会開催

阪神タイガースを圧倒し、日本シリーズを制したパレンタイン監督率いる千葉ロッテマリーンズの本拠地で、千葉市少年軟式野球大会が九月十日、十一の両日にわたって開催された。

この大会は幕張メッセL.Cが主催

する「千葉マリーンズ杯争奪選手権大会」で、千葉市、千葉市教育委員会、千葉マリンスタジアム、千葉ロ

ッテマリーンズ等の後援を受け毎年開催し、今年で八回を数えた。大会は千葉市の各区から選抜された六年生の選手でチームを編成した各区対抗戦。今回から習志野市選抜を加え、八チーム百四十四名が出場した。

この大会の特別規定は、青少年の健全育成という主題に沿って一チーム十八人編成のうち二名は一生涯命

練習に励んだ生徒をレギュラー選手にする事と、残りの十六名は一試合中、必ず出場の間を与える事である。会場のマリンスタジアムは予備日を取ることが出来ず、雨天による順延は代替グラウンドの確保が大変に難しい状況に置かれているが、幸いにして今回まで当初の日程通り開催されている。

この大会の特別規定は、青少年の健全育成という主題に沿って一チーム十八人編成のうち二名は一生涯命



浦安中央ＬＣでは重度脳性麻痺者の競技「ボッチャ」大会を協賛

「ボッチャ」という競技をご存知だろうか。ヨーロッパで生まれ一九八八年のソウル・パラリンピックで公開競技として実施された。現在、ヨーロッパを中心に数多くの競技会が開催されている。

日本では競技スポーツとして一九九六年に千葉ボッチャ選手権大会が開催されたのが始まり。

この競技は、決められたコートの

中でジャックと呼ばれる白いターゲットボールに、赤、青それぞれ６個のボールを投げ合い、ジャックにどれだけボールを近づけられるかを競う。

脳性麻痺などの運動障害のためボールが持てない人、投球出来ない人には投球補助具が使われ、補助者が競技者の指示に従い狙いを定める。

浦安中央ＬＣでは昨年からの大

会を協賛しているが、十回を迎えた九月二十四日からの大会には協賛金二十万円と二日間の大会期間中、延べ五十二名が大会運営に協力した。

大会は千葉ボッチャ協会が運営しているが、千葉県周辺を中心に養護施設や作業所、在宅者の障害者に参加を呼びかけている。浦安中央ＬＣでは事業の大きな柱のひとつとして継続支援していく方針。



成功を収めた浦安ＬＣの事業資金獲得チャリティーゴルフ大会

浦安ＬＣでは事業資金獲得事業では最大で、二十四回目を迎えた恒例のチャリティーゴルフ大会を十月三日に姉ヶ崎カントリークラブで開催した。

会場の姉ヶ崎ＣＣは館山自動車道を姉ヶ崎袖ヶ浦ＩＣを降りて六kmと交通アクセスの良い場所。コースは林間で比較的フラットで計算され尽くしたレイアウト。広くダイナミック

クなフェアウェイは、ゆるやかなながらも戦略性に富んでいる。施設も充実しており、チャリティー大会には格好のゴルフ場。

不況感をなかなか脱出できない経済状況下で参加申し込みが心配されたが、今回も三百五十名を超える賛同者得て盛会に行われた。

今回から表彰式とパーティーはブレー終了後、浦安に戻り市内のホテルで行った。

事前に市内の各事業所等から協賛金、賞品を寄贈していただいたが、パーティーの席上で、社会福祉協議会、ボーイスカウト、盲導犬飼育育成、障害児の「手をつなぐ親の会」などの団体代表者に収益金を贈呈した。場所を変えての表彰式で出席者数心が配されたが、出席率は九十％であった。





結成五周年を記念して木更津アクアLCCが「ソゾミ」の木を植樹

世界ライオンズ奉仕デーの十月八日に木更津アクアLCCでは、例会場となつている木更津市中央公民館の横に結成五周年を記念して植樹を行った。

植樹したのは、この地方に自生している「ソゾミ」の木。この木は樹齢約三十年で、メンバーの山林に自生していたものを移植したもの。夏に花が咲き、秋から冬にかけて赤い

実を付けるが、秋の紅葉が実に美しい。

植樹の選定については各種の案が出たが「市内に自生し高木にならない美しい木」という条件を満たした「ソゾミ」が選ばれたという経緯がある。

木更津市中央公民館でも「高木は管理が難しく、他の樹木の影響を与えるが、ソゾミであれば低木で美しい

く大変に結構でございます」と大歓迎。

当日は小林会長がスコップを手に植樹し、支柱を立て水を遣つてセレモニーを終えた。その後、同公民館の駐車場周辺の花壇や植え込みの雑草を除草し、ついでに落ち葉の清掃も行い、メンバー一同、爽やかな汗を流してライオンズ奉仕デーの一日を終了した。

親・子・孫が（下総中山・行徳・行徳リバーサイド）合同の例会

下総中山LCC、行徳LCC、行徳リバーサイドLCCの三クラブは十月十九日に「フローラ西船」で合同例会を開催した。

三クラブは、いわゆるひとつの親クラブ・子クラブ・孫クラブの関係で、常日頃から何かと社会奉仕事業の展開にあたっては連携し、交流も深い。

下総中山LCCは一九六九年生まれ

の三十五歳。行徳LCCは一九七八年生まれで二十七歳。そして行徳リバーサイドLCCは二〇〇一年の生まれで四歳である。

親である下総中山LCCは、かつて松丸善次郎地区ガバナを擁した名門だけに子・孫も血統が良く、奉仕への取り組みが積極的だ。

当日は鹿野新一郎リジョンチェアパーソンと丸茂陽一PR情報委員が

ビジターとして出席したが、総勢八十名を超える例会は壮観。

ドネーションも多額となったが、これは茂原市在住の今井友輝君の心臓移植手術費用支援金として鹿野リジョンチェアパーソンに託した。

この三クラブ合同例会は、毎年、幹事クラブ持ち回りで開催し、ゾーンは異なるが、アクティビティでは認識を共有している。





柏LCが手賀沼エコマラソン開会式でNHKラジオ体操を演出

柏市、我孫子市の二市が主催する第十一回手賀沼エコマラソン大会が十月三十日に、柏ふるさと公園を発着点として開催された。

当日はまずまずの天候に恵まれ、北は北海道、南は鹿児島、沖縄まで全国から集まったランナー約七千四百人が手賀沼を周回するハーフマラソン(二一・〇九五km)コースで健脚を競った。

大会関係役員は両市の体育協会を中核とした約千二百人。一番早い駐車場係員は早朝五時半に配置に就いたが、選手受付開始の七時半には、ほぼ全役員が担当部署の準備と配置を完了した。

開会式は八時五十分から始められ、大会会長・我孫子市長、大会実行委員長挨拶の後、審判長注意があり九十十分に終了した。

このあと、柏LCが特別協力している「NHKラジオ体操」で準備体操が行われた。

同体操の講師である西川佳克先生が、我孫子市在住であったことから話が進められ、昨年から大会開会式あとのイベントとなっている。

大会関係者、参加者の間でも好評を博していることから、柏LCでは継続事業としていく方針。

茂原市在住の今井友輝君(六歳)の心臓移植手術に支援金を贈呈

茂原市の今井友輝君(六歳)が、昨春秋、心臓が拡張し機能が低下して心不全となる難病の「拡張型心筋症」と診断された。

心臓移植し助かる道はないが、国内での移植は望めないため、アメリカの小児病院でドナーが現れるまで待機することとなった。

しかし、移植手術費や渡航費、半年以上も予想される現地滞在費など

約六千万円が見込まれるため、両親の友人らが「友輝君を救う会」を組織し、全国に支援を呼びかけた。

友輝君の住んでいる茂原市が10リジョンの地域であることから飯倉守リジョンチェアパーソンが緊急会議を召集しリジョン内はもとより地区のクラブに支援の要請を行なうことを決め、またキャビネットに対して同様の支援を求めた。

キャビネットはこれを受けて、地区内クラブの支援金を抱合して六百万円を支援することとし、公式訪問の席上、目録を贈呈した。

「救う会」には全国から続々と支援金が寄せられ、この十月には目標額を超えた。

千葉ロッテマリーンズも、オークションの収益金四百五十万円を同会に寄付している。





交通事故防止を願うカーブミラー清掃作業を実施した成東LC

千葉県警によると、昨年、千葉県内で発生した交通事故は三万八千件以上で、うち三百三十二名が死亡し約四万八千名が怪我をしている。

道路の形状別発生状況を見ると、全体の六割が交差点やその付近で起きており、信号機のある交差点も例外ではない。

因みに昨年の交通事故多発地点のワースト5をあげてみると、

- ①千葉県市花見川区幕張国道交差点
- ②浦安市入船の県道交差点
- ③千葉市中央区稲荷町国道交差点
- ④松戸市稔谷の県道交差点
- ⑤柏市柏の国道6号交差点

ブミラーの一斉清掃を行った。作業開始を前に、全員で交通事故死亡者に黙祷を捧げ、交通安全を祈願した。

成東LCでは十月四日、ライオンズ奉仕デーに山武、成東地域のカーブミラーの清掃は

また、このカーブミラーの清掃は八街LC、大網白里LCも奉仕デーに合わせ、恒例事業として行なわれている。いずれも会員総出で地域内のミラーの汚れを落とし、爽やかな汗を流した。

大網白里LCが町恒例の産業祭りに参加。バザーで事業資金獲得

大網白里町は都心から五十〜六十km圏内にあり、九十九里平野のほぼ中央に位置する。

西は緑豊かな丘陵部、中央は田園地帯、東は白砂青松の海岸線という豊かな自然をもつ風土を有する。

特産物品は、イワシのゴマ漬けやみりん干し、ハマグリなど海産物が多いが、宮谷モチも有名。町の産業復興課では、住民の交流と産業復興

を目的に産業文化祭実行委員会を組織し、毎年「産業文化祭」を開催している。

今年十月二十二日に町の広場で開催された。地元で採れた新鮮な野菜や果物、海の幸などが直売され、町内の各商店では臨時店舗を出店し販売を行うなどイベントが盛り沢山で、大いに賑わった。

大網白里LCではバザーで参加し

産業文化祭の一翼を担った。メンバーから二万円相当の抛出品を受け、担当委員会が値付け。当日、会場へ搬送。開店前から住民が多数来場しメンバーは販売に愛想の良い声をかけ、売り上げに向上に大奮。

以前は抛出品も車二台満載であったが、ここ数年は減り続け苦労している。目標の二十万円には少々、届かなかった。



猛暑に耐え柏グリーンLCが愛の献血運動に大きな成果上げる

献血はライオンズの事業の大きな柱のひとつ。日本赤十字社でも血液の安定供給を目指し様々な推進キャンペーンを展開している。

「愛の献血助け合い運動」(3月4日キャンペーン)「全国学生クリスマス献血キャンペーン」(私たちの献血)がそれである。

また二〇〇三年に「新血液法」が施行され、安全な血液製剤の安定供

給の確保が定められた。これは国内で使用される血液製剤は、原則として国内の献血により得られた血液を原料としなければいけない、ということである。

献血には成分献血、四百ml献血二百mlの三種類ある。成分献血は成分採血装置を使用し、血漿や血小板といった特定成分だけを採血するもので、回復に時間を要する赤血球

は再び体内に戻す。他の献血は全ての成分を献血する。

柏グリーンLCでは、猛暑の七月三十一日にJ.R柏駅前千葉県赤十字血液センターと連携して献血の呼びかけを行った。

当日は百四十五人の市民が献血に応じ成分献血四十八人、二百mlが十七人、四百mlが四十八人、低比重他が三十二人であった。

柏オーケルCは国立がんセンター東病院でのコンサートを協賛

柏オーケルCでは八月二十二日に国立がんセンター東病院(柏市柏の葉六一五―一)の講堂で、ポランテニア・コンサートを協賛した。

このコンサートはドイツのニューリンベルグ・アウグスブルグ音楽大学講師である稲田達雄氏が、一九八九年より始めた日独交流コンサートの一環で、昨年同病院で開かれて

メンバーが病院関係者との話の中でこのことを知り、今回の奉仕事業としての協賛となった。

稲田達雄氏はチューバ奏者で、武蔵野音大を経てベルリン芸術音楽大に留学。現在、ニューリンベルグフィルハーモニックオーケストラ団員で、ドイツ・チューバ協会会員でもある。一九八四年に、その道では榮譽ある「カンマームジカー」の称号

を受けている。

当日は、チューバ、チェロ、ピアノ、クラリネット、トロンボーン、五重奏にソプラノを加えて十曲が演奏された。講堂を埋めた入院患者とその家族、付き添いの看護婦など三百名近くが一時間四十五分のコンサートに聴き入っていた。

がんと闘う患者とその家族に新たな勇気と力を与えたに違いない。



市立小学校の校庭と道路境に「竹の垣根」を新設した館山南LC

館山南LCでは、二期期の始業式後の九月二日、館山市立西岬小学校の校庭と道路の境に竹の垣根を構築した。

これは一期事業で、正門から体育館横までの百五十メートル。二期事業は、秋季運動会を間じた九月九日に校内敷地に茂る雑草の草刈作業を実施した。

当日は九月の声を聞いたにも関わ

ず三十度を超える猛烈な残暑に見舞われ、絶えず水分補給をしながらの作業となった。

近年の塀はブロック積みや鉄パイプ製がほとんどだが、教育環境に優しい「竹の垣根」に取り組んだ。

機械類は使用せず、メンバー十二人が竹一本、一本を手で編み込み、黒の棕櫚縄で仕上げていった。緑の竹と黒の縄のコントラストが見事で

児童も大喜び。

今回の奉仕作業にあたって一期作業では、地域の防犯協会、消防団、青少年相談員の協力を。また二期作業の草刈りでは、児童、保護者が多数参加協力をした。

今回の事業は、文字通り地域が一体となつての奉仕となったが、ライオンズの奉仕は地域の連帯なくして成功はないことを証明した。



手賀沼エコマラソン大会と連携し湖沼の浄化・環境美化運動推進

湖沼の汚濁度が全国ワースト1であった手賀沼の浄化を目的に始められた「手賀沼エコマラソン」は今年で十一回を迎えた。

大会参加費の中から浄化費が積み立てられ、手賀沼の環境保護団体等に支援金が贈られている。お陰で近年はワースト1を脱したものの相変わらず上位に名を連ねている。

手賀沼を囲むクラブでは合同アク

ティビティとして七年前から「湖上見学船」を運航し、大会に参加する選手の家族や応援に訪れた市民を対象に手賀沼の現状を告発し、環境美化の啓蒙運動を推進している。

ここ数年前からは時のリジョンチエアパーソン（今年はし石和田稔）が指揮官となり、柏・我孫子・柏さくら・印西・柏みどり・柏中央・柏沼南・柏グリーン・柏オーク・柏な

の花の十クラブで「水辺のクリーン作戦」を展開している。

全国から七千人四百人のランナーが参加したため、応援の家族、市民を含めると、当日は二万人近くの人たちが来場した。

見学船は二艘用意したが、受付開始三十分で定員満席の盛況。よみがえれ手賀沼を合言葉に長期継続事業としていくことで合意している。





野田LCは有料道路でゴミの収集とドライバーにマナーの啓発

歴代首相に千葉県出身者がいるのをご存知でしょうか？ 終戦直前の

昭和二十年、激動の時代に第四十二代内閣総理大臣を務めた鈴木貫太郎氏がその人。

鈴木貫太郎氏は一八六七年、関宿藩飛地の泉州（大阪）で生まれ、明治維新の廃藩置県後、関宿に戻り、首相就任前は海軍大将の要職にあった。戦後は帰郷し、酪農の普及に尽

くした。

その関宿は二〇〇三年、野田市に編入合併しているが、今号の表紙を飾っている関宿城や、橋幸夫のデビュー曲『潮来笠』でも知られる。

東に利根川、西に江戸川と水路に恵まれた野田市は千葉県の最北端に位置する。この水の恵みを利用し、江戸の食文化を支える醤油醸造業を中心に発展してきた。

歴史と伝統に育まれてきた野田市で、奉仕に精進する野田LCは今年結成二十二年を迎えたが、九月十八日、松戸―野田有料道路終点付近のゴミ収集とドライバーへのマナー遵守の啓蒙を行った。

不法投棄されたゴミの大半は、ペットボトルや空き缶。集められたゴミは車一台分もあつたが、年度内に再度、実施する予定だ。

人類蝕む薬物禍。松戸中央LCが薬物乱用防止キャンペーン実施

今日、薬物禍の浸透問題は世界的な広がりをみせ、人間の生命はもとより社会や国の安全を脅かすなど、人類が抱える最も深刻な社会問題のひとつとなっている。

このため国連では国際社会が一丸となって地球規模で拡大する薬物乱用問題の解決に取り組む指針として根絶宣言を採択しているが、日本でも厚生労働省、警察庁、都道府県を

中心に薬物乱用の防止と根絶に取り組んでいる。

薬物乱用とは、医薬品を本来の目的とは異なる用法や用量を使用することを言い、遊びや快感を得るために例え一回でも使用すれば乱用にあたる。

キャビネットも薬物乱用防止教育講座を開催し、受講者に講師認定証を交付するなど主要事業のひとつと

位置付けているのは周知の通り。

松戸中央LCでは十月二日の「松戸祭り」の会場で、松戸警察署、松戸東警察署の協賛を得て薬物乱用防止キャンペーンを行った。

「ダメ。ゼッタイ。」と書かれたポールペン二千本を、道行く青少年を対象に配布したが、薬物禍の魔の手は次代を担う若者に急速に伸びており、対応は集眉の急となっている。





チャリテイゴルフの表彰式・パーティに工夫凝らした松戸南LC

松戸南LCでは十月十九日、第十二回を迎えた「青少年健全育成チャリテイ・ゴルフ大会」を茨城県常陸大宮市の那珂カンントリー倶楽部で開催した。

同ゴルフ場は常磐自動車道・那珂ICから十五kmと比較的交通アクセスの良いところ。いわゆる丘陵で正確なショットと戦略が要求されるタフなコース。

登録されたのはチャリテイの趣旨に理解と賛同をいただいた腕に覚えのある猛者・五十組百九十八名。

今年は台風の当たり年で、関東地方は何度も襲われたが、今回も台風二十号が接近し、上陸・直撃であれば中止もあった。

幸いに東側に外れたため馬場不良ながら調教され万全の態勢を整えた駿馬がゲートイン。栄冠を目指して

一斉にスタートした。

レース終了後、表彰式とパーティが行われたが、道路交通法の改正で飲酒が難しくなり、親睦と交流を如何に図るか、パーティの企画力が問われる時代になった。

特に司会・進行役はその鍵を握るが、メンバーのアドリブやエンターテイメントぶりを上手に引き出して会場を沸かせ、合格点であった。

袖ヶ浦LCも少年サッカー大会を通し青少年の健全育成を図る

サッカーを通して青少年の健全育成を図ることを目的に開催している第十一回「袖ヶ浦ライオンズクラブ旗争奪少年サッカー大会」が、晴天に恵まれた文化の日（十一月三日）に袖ヶ浦総合運動場陸上競技場で行われた。

開会式では来賓の石井文夫ゾーンチエパーソンが「リーグを目指してガンバってください」と激励の

祝辞。代表して昭和SCのキャプテンが選手宣誓。始球式では鈴木康夫会長代理が無事、ゴールを決め、試合が開始された。

参加チームは市内の長浦SC、昭和SCホワイト、蔵波FC、平川SC、昭和SCイエロー、アトレレチョコFCの六チームが、それぞれ一年〜四年生まで一チームと五・六年生チームを編成した計三十チーム。

試合時間は、低学年が十分ハーフの二十分。高学年は十五分ハーフの三十分。予選リーグを勝ち抜いたチームにより、決勝トーナメント方式で、三会場に分かれて試合が進められた。

良い天候でもあったため、大勢の保護者が応援に駆けつけ、繰り広げられる熱戦に、監督顔負けの「指導声援」送っていた。



Members Seminar

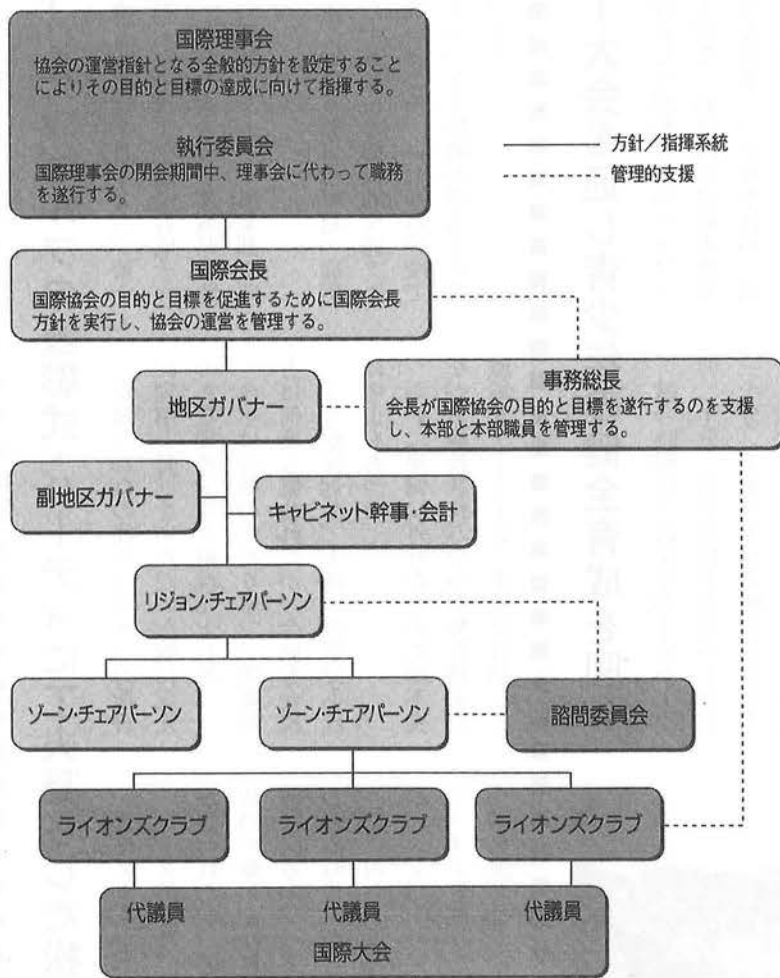


第6章 国際協会の組織（続）

世界のライオンズクラブの活動を支える国際協会本部はアメリカ・イリノイ州オークブルック市にある。前号でも記したが、その協会本部の運営にあたるのは、行政役員と呼ばれる事務総長、会計、幹事であり、十二の局と四十四の課があり、約三百人のスタッフが在る。

世界各地のライオンズクラブを担当しているのは「地区・クラブ行政部」で、その下に「大平洋・アジア課」あり、日本を含む各国の業務を担当している。

●国際協会組織



第7章 複合地区

本部事務局はライオンズクラブ会員は無論、一般市民に広く開放されており、日本からの訪問者には日本語の堪能なスタッフが案内してくれる。

国際協会は世界各地に分布するラ

イオンズクラブを効率よく管理するため国際協会の出先機関である複合地区、地区の機構を設けている。複合地区はふたつ以上の地区をもつて構成され、複合地区会則に基づき運営されている。複合地区を構成している地区を準地区と呼ぶ。複合地区会則ではその目的を①複合地区内のライオンズクラブの融和

協調を図る②ライオニズムを高揚するために国際協会の基本的活動方針に従い、複合地区内の各準地区の運営を円滑ならしめること・・・と記されている。複合地区には所属する準地区の地区ガバナーを構成員としたガバナー協議会が設置され、議長、副議長、幹事、会計を互選する。ガバナー協議会は委員会を設置し、委員長や委員を委嘱して複合地区の運営を管理する。複合地区は国際協会と直接繋がっている。他の複合地区とは会則上も構成的にもまったく問題ないが、日本レベルのライオンズ活動を円滑するため国内の八複合地区をもつて「複合地



LCIF

LIONS CLUBS INTERNATIONAL FOUNDATION



「区ガバナ―協議会議長連絡会議」を
設置している。

この連絡会議は、各複合地区に共
通する事項や全日本レベルの委員会
活動、または対外的に共同歩調をと
るための事項などについて、連絡と
協調・推進を図り、日本ライオンズ
連絡事務所が、その事務を担当して
いる。

またこの連絡会議では全日本レベ
ルでの委員会と委員会連絡会議を管
掌している。委員長連絡会議は、各
複合委員長による会議で、会則、国

際大 Y E、I Tなどの委員会で
ある。

第8章 LCIF

ライオンズクラブの六項目の目的
を達成するための会員の具体的活動
をアクティビティと呼ぶことは前号
で記したが、言い換えれば地域のニ
ーズがあれば何にでも取り組むのが
ライオンズクラブの使命である。

LCIF (ライオンズクラブ国際
財団) は、非営利の法人組織として

一九六八年に創設された。運営は国
際協合理事会構成員および二人のア
ポンティーからなるLCIF理事会
が行う。財団の理事長は前国際協会
会長が務める。

財団の使命は、人道主義的奉仕、
職業技術訓練、大災害援助の各種事
業を通して地域社会および社会奉仕
に努める全世界のライオンズクラブ
を援助することである。

その援助金交付は次のプログラム
を通して果たされる。

- 1 一般交付金 人道主義的ニーズ
に応じて交付。
- 2 国際援助交付金 二カ国以上の
ライオンズクラブが共同で行っ
ている事業に交付。
- 3 四大交付金 視力保護、障害者
援助、健康促進、青少年奉仕の
分野において、特に切迫したニ
ーズや機会に対し交付。
- 4 緊急援助金 天災に対し即座に
支給。
- 5 大災害援助金 長期的な再建事
業への支援として支給。
- 6 主要国際奉仕プログラム援助金
糖尿病研究や視力ファーストな
どのプログラムに交付。

LCIFのこの活動財源となつて

いるのが世界のライオンズクラブと
その会員から寄せられる寄付金で、
2003～2004年度は1954
万ドルであったが、そのうち38・
3%の749万ドルが日本からの献
金。大口拠出国である。

一九二五年、ヘレン・ケラーがラ
イオンズに向けて「盲人のために暗
闇と闘う騎士となつてください」と
要請されて以来、視力関連活動はラ
イオンズの中心的事業として位置づ
けられている。

世界中で数々の啓発事業、アイヘ
ルス・プログラム等を実践し、盲人
用の白い杖の考案やアイバンクの設
立を設立。一九九〇年にはLCIF
交付金を活用する国際的プログラム
として「視力ファースト」をスター
トさせている。

今年度行われている「視力ファ
ーストIIキャンペーン」は十五年ぶり
に再開された事業資金調達運動で、
林護前地区ガバナ―がMD333の
セクターコーディネーターとして陣
頭指揮にあたっている。

会員一人が三年間に405ドルを
献金するモデルクラブはC地区では
浦安LC、流山LC、柏中央LCで
ある。

迫る大地震 備えあれば憂いなし



大地震は鉄道、道路網を破壊・寸断させる。(阪神大地震で倒壊した高速道路)

首都圏の経済的損害は112兆円 啓発活動の推進で被害を最小限に

七月二十三日夕方、千葉県北西部を震源地とする震度5強の地震が首都圏を大きく揺らせた。瞬間、ついに来たか、と思われた人も多かったに違いない。

幸い大きな被害は出なかったものの、大手三社が管理する首都圏のエレベーター約四万七千弱が緊急停止し、多くの乗客が一時、閉じ込められた。

また鉄道も緊急停止や安全確認のため全面ストップとなり、最大七時間近くも不通となった。帰宅時間と重なったため、各駅には大勢のサラリーマンや家族連れなどが溢れる事態となったことは周知の通り。

中央防災会議の「首都圏直下地震対策専門調査会」がまとめた最終報告によると、東京湾北部を震源とするM7・3の地震が正午に発生した場合、都内で約390万人、東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県で約650万人の帰宅困難者が発生するという。

大正十二年の関東大震災の被害総

額は当時の国家予算の一年四ヵ月分といわれたことは前号で触れたが、同調査会の被害想定によると、経済的被害は最大で約112兆円。阪神大震災のそれが直接、間接合わせて約16兆円であったことから桁が違う。

国内人口の4分の1、事業者数の4割を占める首都圏の経済中枢機能が停止すれば、その影響は全国に波及するのは必至で、日本崩壊の悪夢が現実となる恐れがある。

広い範囲が一度に被災する大震災では、直ちに消防、警察、自衛隊等の救援を受けられるとは考えられない。救援が本格化するまでの数日は自活となる。飲料水や食料の確保が必要であることは言うまでもない。

ライオンズクラブも起こってからの救援態勢を布くのではなく、被害を最小限に抑える事前の対策が求められる。まずは地域住民への意識の喚起と心得の周知ではないか。日ごろの備えの啓発に勝るアクティビティはない。

(次号に続く)

「壇」「俳」「わ」「が」「な」「み

房総の秋

皆川 春安

いつの間に

頬を染めた葉と

赤い実を添えて

上総の山が色づいた

電車が仲良く

谷間を縫って

掛け声が港にあふれ

船が大漁旗を揚げ

浜にぎわって

威勢のいい男たら

魚焼く煙が

町を包む

きれいになった街

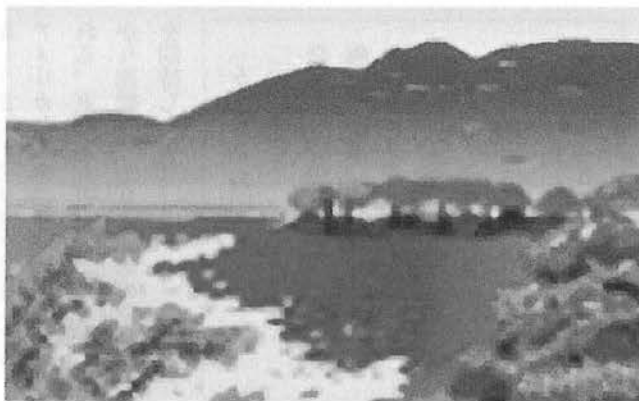
コートを着た二人

連れ添って

デイズニールランドへ

夢は拳式か

胸膨らませ



愛の奉仕は

明日への命

絆しつかり

いつまでも

後	編
記	集



今年のプロ野球は千葉ロッテマリ
ーンズが三十一年ぶりに日本一の座
に就いた。

セリーグの覇者阪神に付け入る隙
を、まったく与えず圧倒。初戦から
四連勝の完勝であった。

ロッテはその後、初めて開催され
たアジアシリーズ2005にも無敗
で初代王者となり、交流戦V、パ制
覇、日本一と合わせ、四冠の偉業を
達成したのは周知の通り。

一方、海の向こうの大リーグでは
井口資仁選手の所属するシカゴ・ホ
ワイトソックスがヒューストン・ア
ストロズを相手に、やはり四連勝で
ワールドシリーズのチャンピオンと
なった。

今年はい米とも4と8の数字が目
に付く。アストロズは球団創設四十
四年目の挑戦だったが、阪神と同じ
く四連敗で夢潰えたし、ホワイトソ
ックスはア・リーグ優勝決定シリ
ーズから八連勝で、八十八年ぶりに栄
冠を手に入れている。ロッテが四連勝

で日本一、四連勝でアジア王者に。
ポストシーズンは、これまた八連勝
である。この編集後記の行数も八十
八行だが、これは関係ないか。

*

日本シリーズ第一戦の千葉マリ
ン球場へ観戦に出かけた。折りしも幕
張はモーターショーの初日と重なり
人、人、人で溢れた。

試合はロッテの猛攻で一方向的とな
ったが、終盤、球場の上からドライ
アイスの煙をぶちまけたように霧が
降り注ぎコールドゲームに。

千葉県で日本シリーズが開催され
たのは初めてだが、濃霧のため中止
になるのも初めて。またチケットを
公式売り場で購入せず、球団関係者



日本シリーズ第1戦。濃霧の千葉マリン球場

筋から手配していただき入場したの
も、これもまた初めてである。

*

天皇、皇后両陛下は東京競馬場で
十月三十日に行われた「第132回
天皇賞」を観戦されたが、一九三七
年の天皇賞レース開始以来、初めて
のこと。

天皇杯や皇后杯は、このほか十九
のスポーツ団体等に授与されている
が、一番、知られているのは国民体
育大会で優勝した都道府県に贈られ
る天皇杯、皇后杯だろう。

両陛下は一年に一団体のペースで
天皇杯が授与されている大会を観戦
されるという。

天皇杯、皇后杯は、申請に応じて
宮内庁が審査し、基準に合えば天皇杯
にふさわしいスポーツであれば授与
されるといふ。

大相撲の「天皇賜杯」は摂政時代
の昭和天皇から授与された資金を基
に日本相撲協会が作製されたものと
いふ。そういえば昭和天皇は、度々
大相撲を観戦されていた。お好きで
あったのである。

*

九月の東京都議会で石原知事は
2016年夏の東京オリンピック開

催に強い意欲を示した。開催が実現
すれば1964年以来、約半世紀ぶ
りとなる。

東京オリンピック以降、日本は1
988年名古屋、2008年大阪と
立候補したが、いずれも招致に失敗
している。

2012年は、ロンドン、パリ、
モスクワ、ニューヨークと巨大都市
同士の激戦だったが、ブレア首相が
乗り込んで接戦を制し、ロンドンに
決定されたのは周知の通り。

2016年はヨーロッパの都市が
続けて選ばれる可能性が低いため、
アメリカと日本の争いになると見ら
れる。東京都と政府、JOCがしつ
かり連携し、2016年の招致実現
を期待したい。

「みんなが和」

二〇〇五年十二月十日発行

発行人 皆川 春安

編集人 田口 恵一

発行所 ライオンズクラブ

国際協会333C地区

キャビネット

千葉市中央区問屋町一五五

シーオービル6F

電話 043(243)2528

ライオンズ ウィ・サーブ

Lions We · Serve

作詞・作曲 高城 靖雄

編曲 笹岡 豊彦

1. 世界の国から やってきた
奉仕の心で 手をとり合おう
ウィ・サーブ ウィ・サーブ
平和と 限りない自由
オー 飛び立て未来へ

※ ライオンズ ライオンズ
ウオーオ ライオンズ
知性を高めて
今 届け地上の星へと
地上の星へと

2. 隣の町から やってきた
笑顔で みんなが やってきた
ウィ・サーブ ウィ・サーブ
友愛 理解深める
オー 煌めく 未来へ

ライオンズ ライオンズ
ウオーオ ライオンズ

絆 友情
今 届け地上の星へと
地上の星へと

※ (くり返し)

地上の星へと・地上の星へと

“ライオンズ・ウィ・サーブ”

1. We came from all over the world
We offer our spirits hold together
We serve We serve
Peace and endless freedom
or fly to our future

※ Lions Lions Oh Lions
Improve our intelligence
Now let's reach
The shining bright stars

2. We came from the neighbor town
We came with our smiling face
smiling face
We serve We serve
Our relationship and
deep understanding
Oh let's go to the bright future

Lions Lions Oh Lions
Tight up our friendship
Now let's reach
The shining bright stars
shining bright stars

※ (Repeat)
Shining bright stars
Shining bright stars

“Lions We serve”



We Serve
